

---

両替機  
MC21C  
取扱説明書

第4版:2023年10月25日

---



東亜電子工業株式会社

(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

## -目次-

安全上のご注意 .....	3
1 はじめに .....	7
2 各部の名称 .....	7
2-1 全体図 .....	7
2-2 内部図 .....	8
2-3 寸法図 .....	9
3 設置 .....	10
3-1 付属品 .....	10
3-2 架台、台座の設置方法 .....	11
3-3 防盜部材 .....	14
3-4 外部パルス入力、警報装置出力 .....	18
3-5 外部通信 .....	18
4 初期設定 .....	19
5 両替動作 .....	20
6 その他動作 .....	21
6-1 外部パルス .....	21
6-2 警報装置 .....	23
6-3 警報ブザー .....	23
6-4 警報装置用電池 .....	23
7 モード .....	24
7-1 通常モード .....	24
7-2 メンテナンスモード .....	27
8 日常のお手入れ .....	32
8-1 紙幣回収 .....	32
8-2 硬貨の補充 .....	33
8-3 紙幣識別機の清掃 .....	33
8-4 硬貨選別機の清掃 .....	36
8-5 硬貨の回収方法 .....	39
9 エラー .....	40
10 製品仕様 .....	42
11 保証規定 .....	44

# 安全上のご注意

－かならずお守りください－

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい事を、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を見逃して、誤った取扱いをすると人が損傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



記号は注意を促す表示です。



記号はしてはいけない「禁止」表示で、記号内に具体的な注意内容図が描かれています。

左図は「分解禁止」指示です。



記号は必ず実行していただきたい表示で、記号内に具体的な指示図が描かれています。

左図は「電源プラグを抜く」指示です。

# 警告



AC100V 以外禁止

指定の電源電圧(AC100V)以外で使用しないでください。  
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

直射日光の当たる場所や、冷暖房器具の近くで著しく温度が変化する場所には取り付けないでください。  
故障や感電、発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に花びん、植木鉢、水の入ったコップなどを置かないでください。  
水がこぼれて中に入った場合、感電、発熱、火災の原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の恐れがあります。



電源プラグを抜く

本機の内部に異物や水などが入ったり、本機を落としたりしたらすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社にご連絡ください。

そのまま使用すると火災、感電の危険があります。



電源プラグを抜く

故障や発煙、変な臭い、音がした状態で、そのまま使用すると火災、感電の危険があります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

そして販売会社にご連絡ください。



確認

電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。  
差し込みが不完全ですと感電や、発熱による火災の原因となります。



専門業者へ

電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。  
ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因になります。



アース線接続

アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。



分解禁止

本機を分解しないでください。  
内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。



接触禁止

雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。  
感電の危険があります。



禁止

電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないでください。  
ショート、断線により火災、感電の危険があります。

# 注意



取り外し確認

移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。  
ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。



禁止

腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。  
また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)が含まれている環境へも設置しないでください。



禁止

埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けしないでください。  
絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。



禁止

本機の上に重い物を置かないでください。  
転倒、落下などが怪我の原因になります。



電源プラグを抜く

長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。  
コードが断線、ショートし、火災、感電の原因となることがあります。



禁止

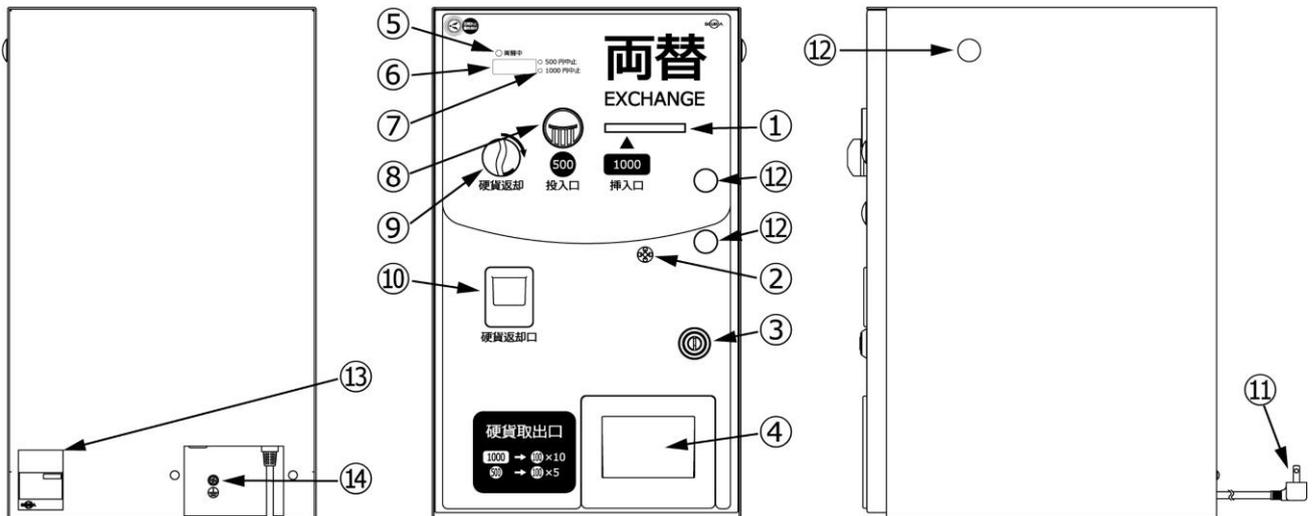
電源が入っている状態で、内部の配線を引き抜かないでください。  
故障の原因になります。

# 1 はじめに

MC21C は 500 円硬貨、1000 円紙幣を 100 円硬貨に両替する機能を持つ両替機です。

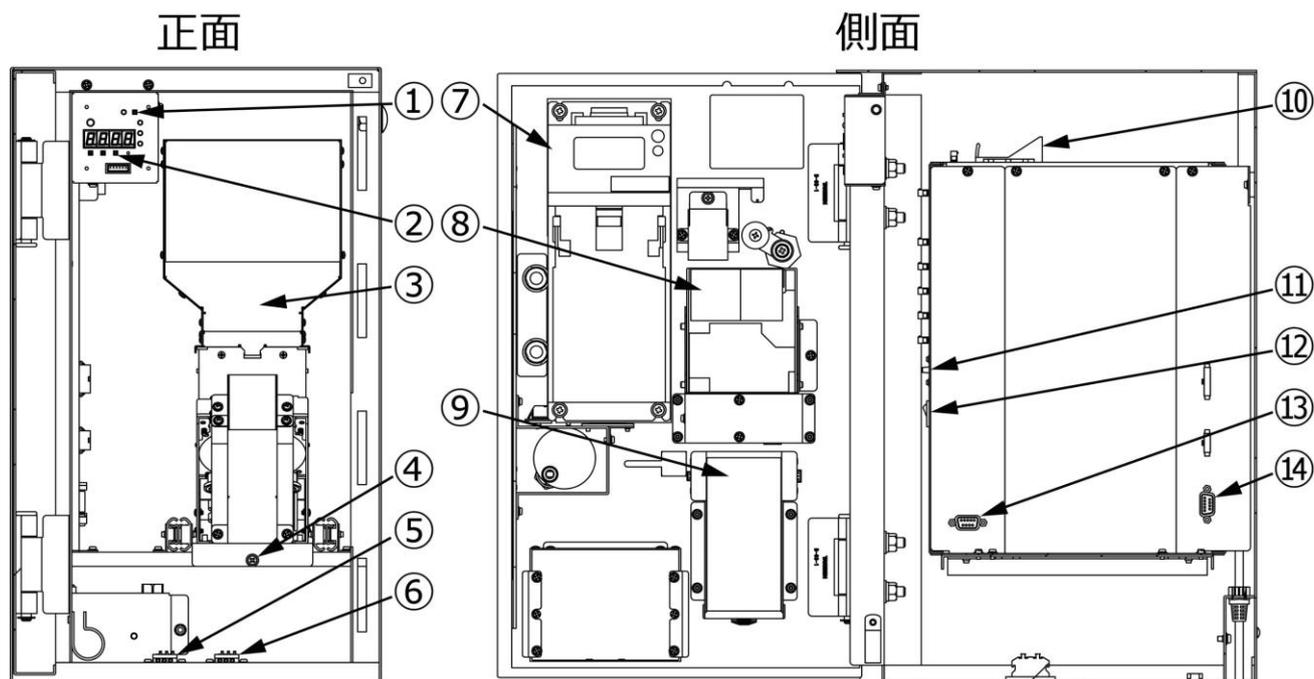
# 2 各部の名称

## 2-1 全体図



名称	機能	名称	機能
① 紙幣挿入口	1000 円紙幣を裏表 4 方向で挿入できます。	⑧ 硬貨投入口	500 円硬貨を投入できます。
② 警報ブザー穴	警報ブザーの音が鳴ります。	⑨ 返却レバー	詰まった硬貨を返却します。
③ 扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。	⑩ 硬貨返却口	返却された硬貨が出てきます。
④ 硬貨取り出し口	両替された硬貨が出てきます。	⑪ 電源プラグ	本機の電源供給用です。(AC100V 用)
⑤ 両替中ランプ	両替が可能な状態であれば点灯、または点滅します。	⑫ 防盜部材取り付け穴	防盜部材(別売)を取り付ける場合に使用します。
⑥ 4 桁数値表示器	入金金額、エラーなどを表示します。	⑬ 定格銘板	製品の型式、製造No、電気定格などを記載しています。
⑦ 中止ランプ	両替可能時で各金種の入金ができない場合に点灯します。	⑭ アース端子	アース線の接続部です。

## 2-2 内部図

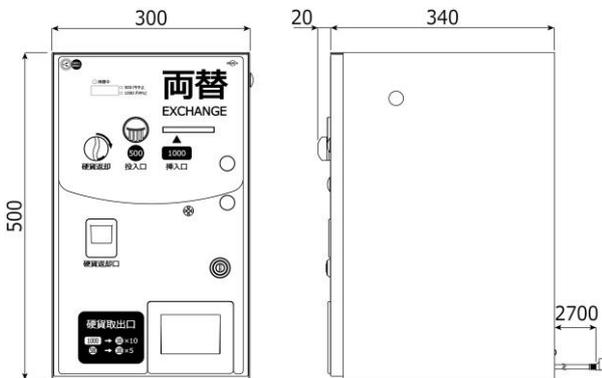


	名称	機能		名称	機能
①	電池残量チェックスイッチ	警報ブザー用電池の残量を確認します。	⑧	硬貨選別機	入金された硬貨を選別します。
②	設定スイッチ	各種設定などに使用します。左から MODE スイッチ、UP スイッチ、SET スイッチとなります。	⑨	硬貨収納箱	入金された 500 円硬貨の収納部です。
③	硬貨払い出し機	100 円硬貨を払い出します。	⑩	電池ボックス	警報ブザー用電池を取り付けます。
④	硬貨払い出し機固定ネジ	硬貨補充時に取り外し、補充完了時に硬貨払い出し機を固定します。	⑪	警報装置スイッチ	警報ブザー、および警報装置(別売)を ON/OFF します。
⑤	警報装置出力端子台	警報装置(別売)の電線を接続します。左から A 接点、B 接点、COM となります。	⑫	電源スイッチ	本機の電源を ON/OFF します。
⑥	外部パルス入力端子台	外部パルス入力電線を接続します。左から A 接点、B 接点、COM となります。	⑬	プリンター用コネクタ	プリンター(別売)を D-sub コネクタ(9 ピン)で接続します。
⑦	紙幣識別機	紙幣を取り込み、収納します。	⑭	外部通信用コネクタ	外部機器と通信を行う場合に D-sub コネクタ(9 ピン)で接続します。

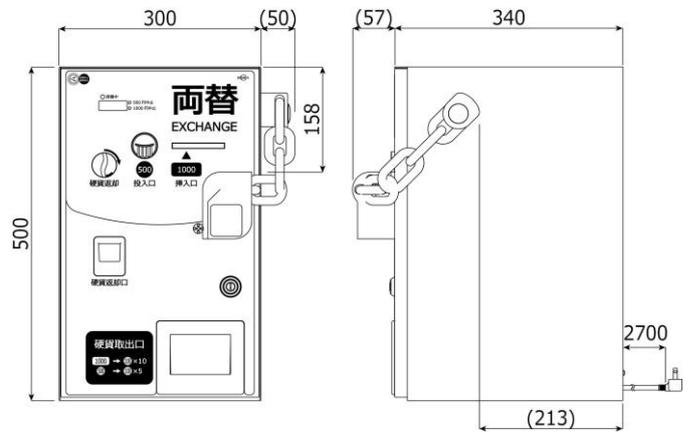
## 2-3 寸法図

(単位:mm)

●本体(防盜部材なし)



●本体(防盜部材あり)<sup>※1</sup>

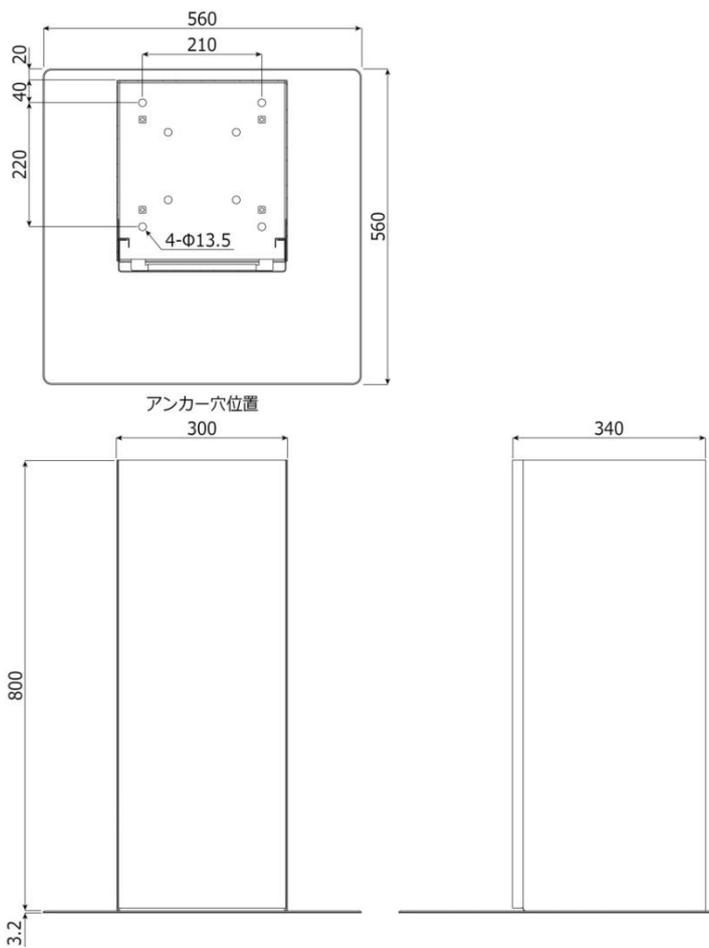


※1 適合品以外の防盜部材を取り付けた場合は寸法が異なります。

適合品

・株式会社多奈川商店製 13シリーズ(合金)右鍵用 0221(46-5[32cm])

●架台、台座<sup>※2</sup>



※2 架台、台座はオプションとなります。



### 3-2 架台、台座の設置方法

#### 1. オプションの架台、および台座を取り付けます。

※取り付けない場合は必要ありません。

#### ●架台、台座を取り付ける場合

##### ①架台扉を取り外します。

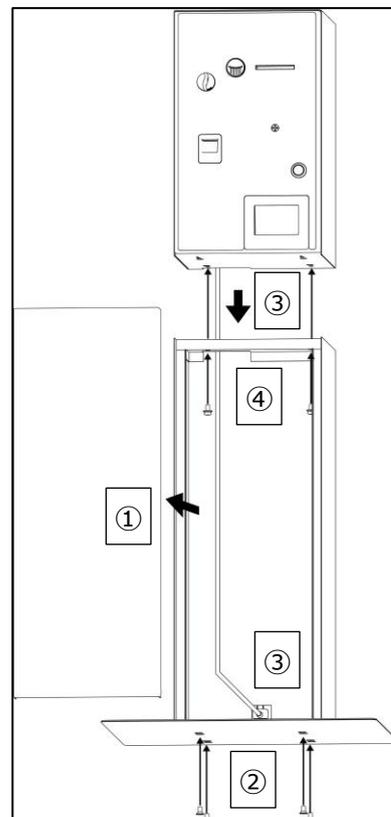
※上に持ち上げてから手前に引き出すと取り外せます。

##### ②台座固定用ネジで、底面から台座を4ヶ所固定してください。

※設置場所を固定する場合はアンカーボルトを使用してください。

##### ③架台に本体を載せ、電源プラグを架台上部の穴から架台背面に通します。

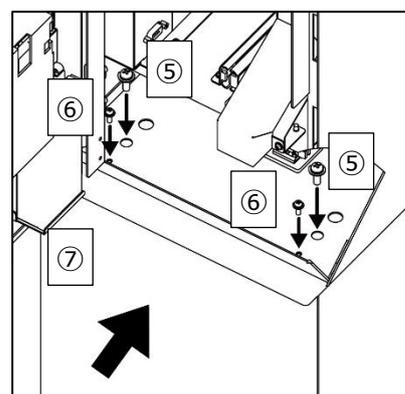
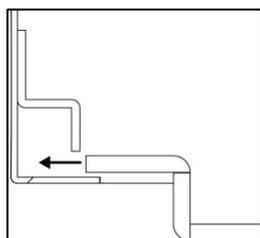
##### ④架台の内部から、本体固定用ネジで奥側の穴を使用し、本体を2ヶ所固定してください。



##### ⑤本体の扉を開け、本体内部から本体固定用ネジで手前側の穴を使用し、本体を2ヶ所固定してください。

##### ⑥架台扉を取り付けてください。

※下図のように、架台の下部にある出っ張り部分を架台扉の下部にある隙間に差し込んでください。



##### ⑦架台扉固定用ネジで架台扉を2ヶ所固定してください。

これで、架台、台座の取り付けは完了です。

● 架台のみ取り付ける場合

※ 架台は必ずアンカーボルトで固定してください。

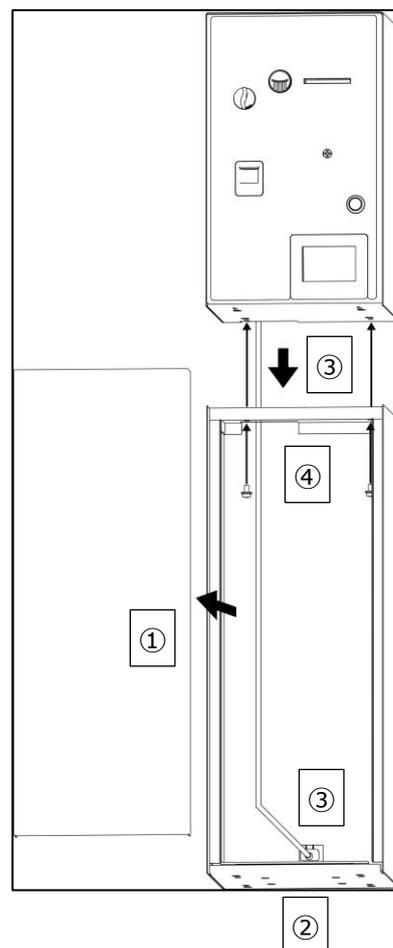
① 架台扉を取り外します。

※ 上に持ち上げてから手前に引き出すと取り外せます。

② アンカーボルトを使用して、架台を4ヶ所固定してください。

③ 架台に本体を載せ、電源プラグを架台上部の穴から架台背面に通します。

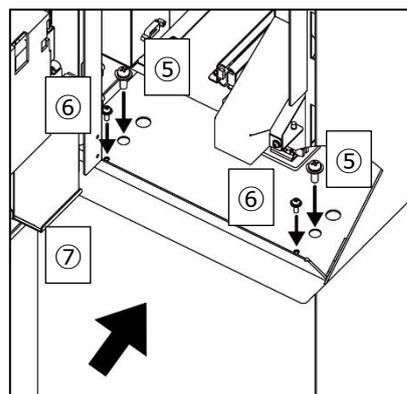
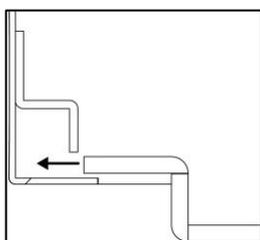
④ 架台の内部から、本体固定用ネジで奥側の穴を使用し、本体を2ヶ所固定してください。



⑤ 本体の扉を開け、本体内部から本体固定用ネジで手前側の穴を使用し、本体を2ヶ所固定してください。

⑥ 架台扉を取り付けてください。

※ 下図のように、架台の下部にある出っ張り部分を架台扉の下部にある隙間に差し込んでください。



⑦ 架台扉固定用ネジで架台扉を2ヶ所固定してください。

これで、架台の取り付けは完了です。

2. 「6-4 警報装置用電池」を参照して、警報装置用電池を取り付け、警報装置スイッチを ON にしてください。

3. 「2-1 全体図」を参照して、アース端子にアース線を接続してください。

※アース線は必ず接続してください。

※電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。

※アース(接地)工事は D 種(第 3 種)設置工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。

※アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。

### 3-3 防盜部材

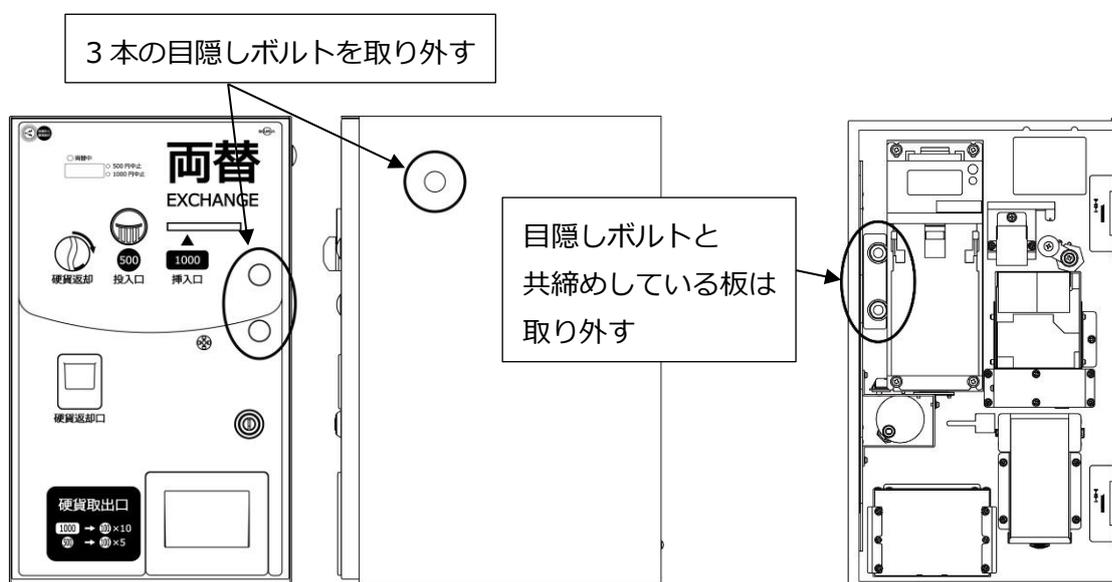
- 防盜部材(別売)を使用する場合は、防盜部材取り付け穴を利用して取り付けてください。
- 防盜部材は適合品を取り付けてください。

#### 適合品

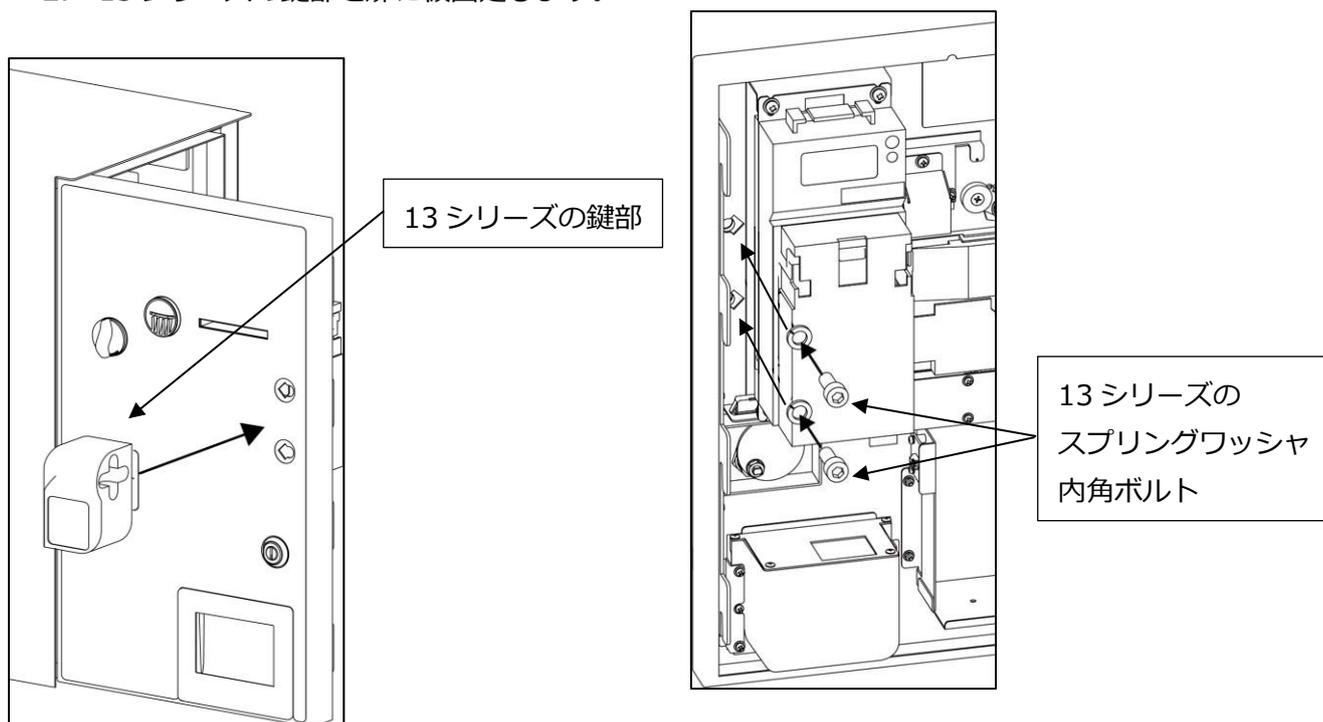
- ・株式会社多奈川商店製 13シリーズ(合金)右鍵用 0221(46-5[32cm])

- 13シリーズ(合金)右鍵用の取り付け方法

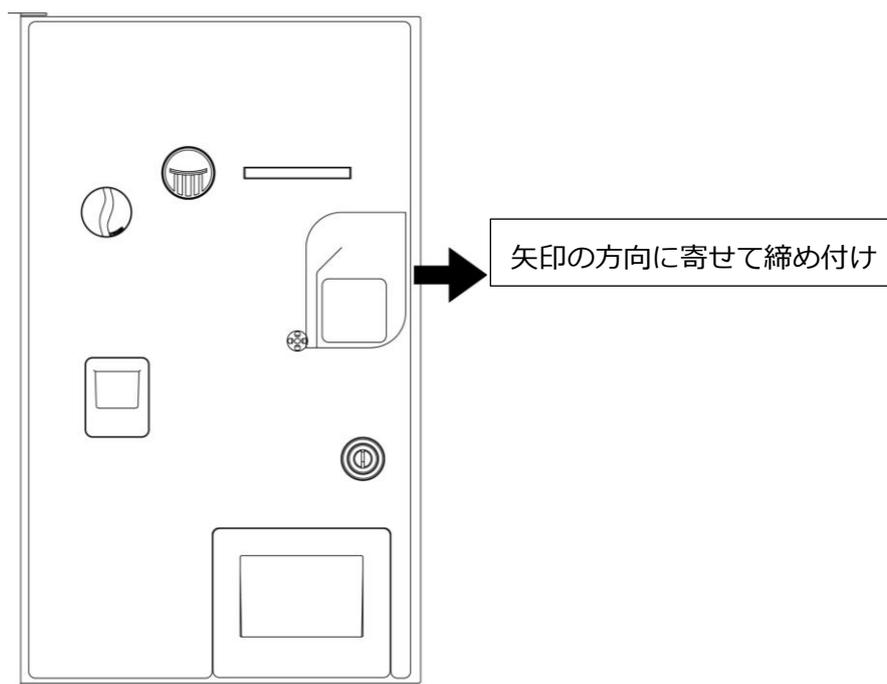
1. 防盜部材取り付け穴を目隠ししているボルトを取り外します。



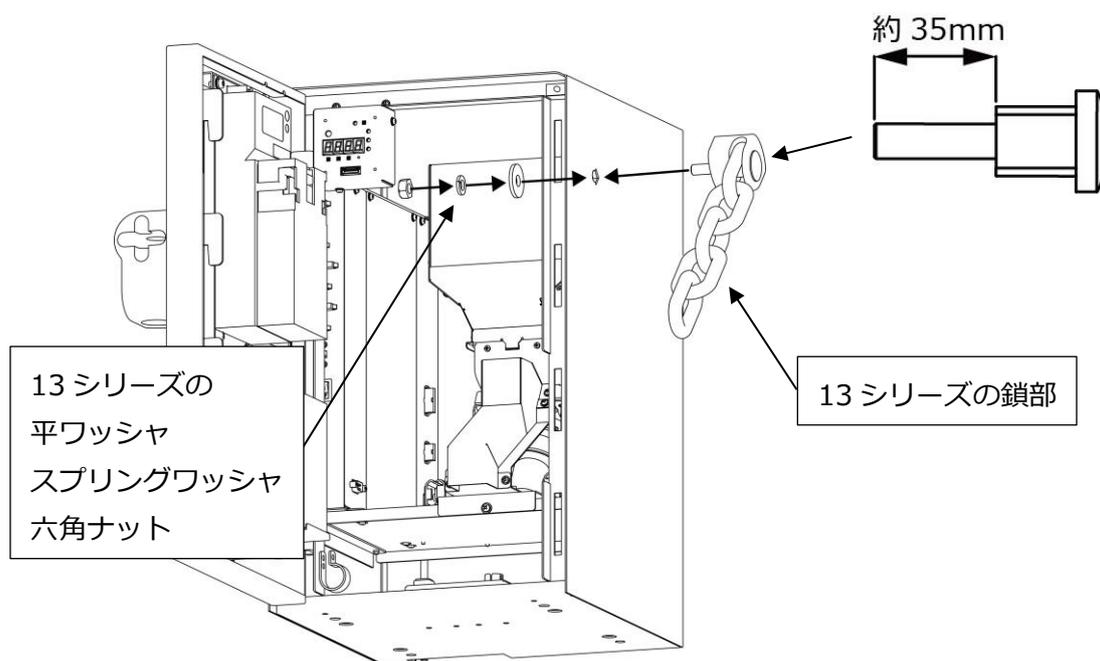
2. 13シリーズの鍵部を扉に仮固定します。



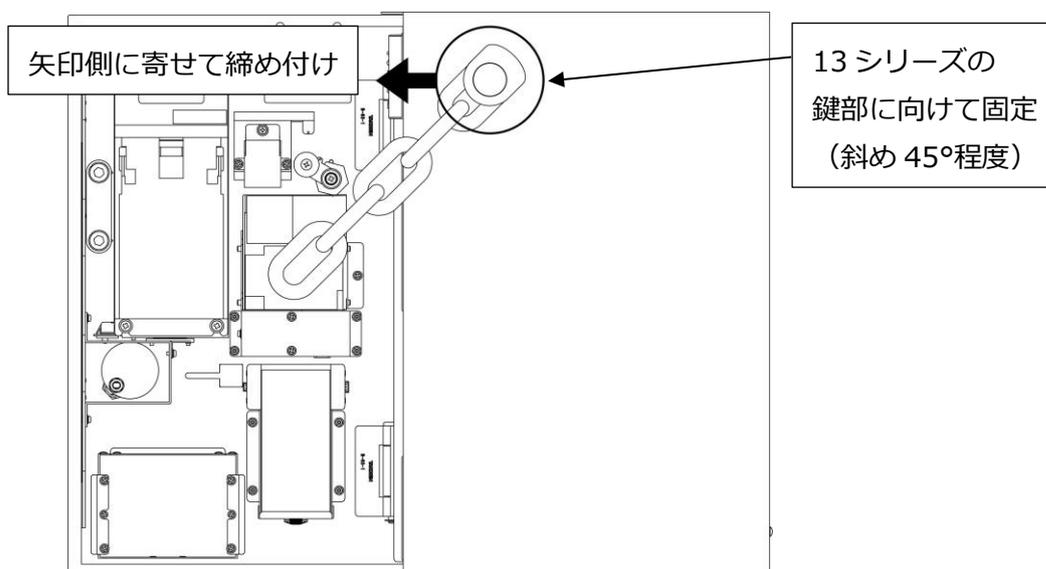
3. 仮固定した鍵部を下図の矢印側へ寄せて、ボルトを締め付けます。



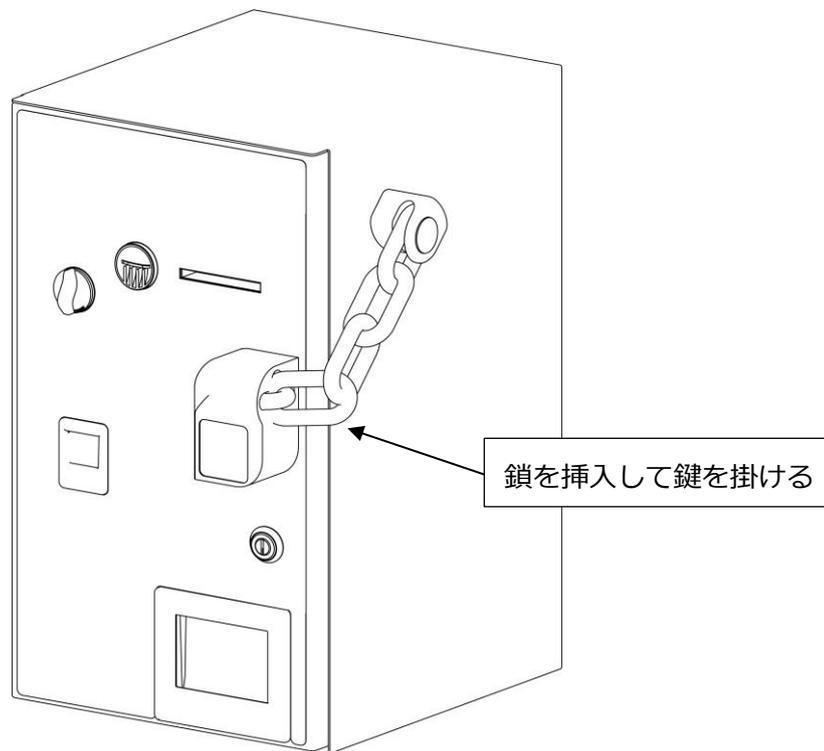
4. 本体側に 13 シリーズの鎖部を、仮固定します。ボルト部は約 35mm 出してください。



5. 仮固定した 13 シリーズの鎖部を、下図の矢印側に寄せてナットを締め付けます。



6. 扉を閉め、鎖を 13 シリーズの鍵部へ挿入し、鍵を閉めて完了です。  
鎖の付属品カバーは任意で取り付けを行ってください。



### 3-4 外部パルス入力、警報装置出力

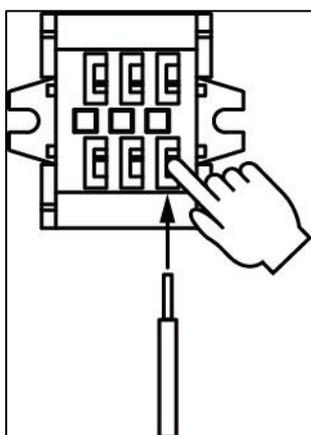
- 電線の先端の被覆は 10mm 程度剥がしてください。
- 下記の取り付け図を参照し、端子台上部の突起部分を押しながら電線の先端を奥まで挿し込み、突起部分を放して固定してください。
- A 接点で使用する場合は左側、B 接点で使用する場合は中央に挿し込みます。COM は必ず右側へ挿し込んでください。
- A 接点と B 接点は、同時に接続しないでください。

使用可能電線範囲

単線  $\varnothing 0.4\text{mm} \sim \varnothing 1.2\text{mm}$ (AWG26 $\sim$ AWG16)

撚線  $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ (AWG22 $\sim$ AWG16)、素線径  $\varnothing 0.18\text{mm}$  以上

取り付け図

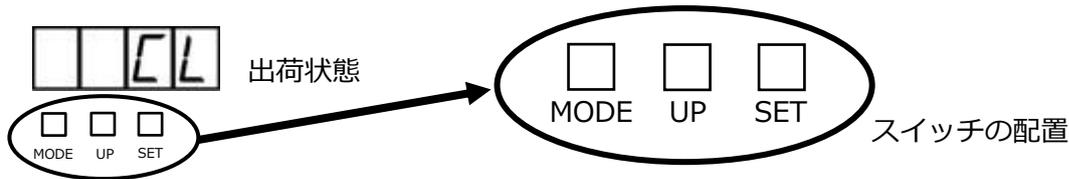


### 3-5 外部通信

- 外部との通信を行う場合は、外部機器を外部通信用コネクタと接続し、通信を開始してください。

## 4 初期設定

電源を ON にすると出荷状態になっているので、下記の手順で初期設定を行ってください。

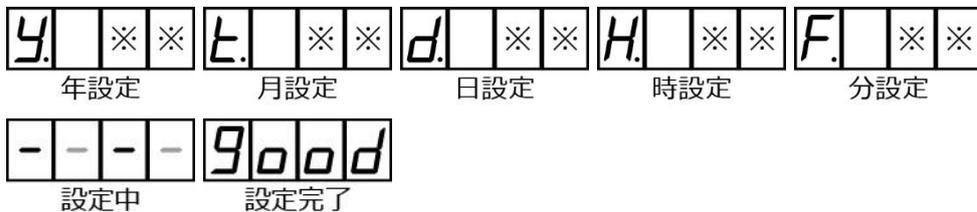


### 1. 時計の設定 (詳細は「7-2 メンテナンスモード」にも記載しています)

一旦電源を切り、MODEスイッチを押しながら電源をONするとメンテナンスモードに入ります。

モード選択 表示から SET スイッチを押し時計設定を行います。

年(西暦下 2 桁)月日時分を設定します。設定後、秒は 0 秒になります。



#### 設定方法

- ・ SET スイッチ:年設定値が表示されます。  
設定変更時は、年月日時分の順に項目を移動します。
- ・ UP スイッチ:設定値を加算します。また、1 秒以上の長押しで連続加算します。
- ・ MODE スイッチ:変更された値を記憶した後、モード選択へ戻ります。

### 2. 100 円硬貨の補充

硬貨払い出し機に 100 円硬貨を入れてください。

※硬貨払い出し機には、100 円硬貨以外の硬貨、変形硬貨及び異物を入れないでください。

### 3. 更新操作

一度電源を切り再度電源を ON にすると通常モードになり、動作を開始します。

- ・ 更新操作

SET スイッチを 2 秒間長押しで、出荷状態 を解除します。

上記以外の項目は、必要に応じて変更、確認を行ってください。

これで初期設定は完了です。

## 5 両替動作

1. 両替中ランプ点灯時※1に500円硬貨、または1000円紙幣を入金します。  
4桁数値表示器に入金金額が表示され、両替を開始します。
2. 100円硬貨が5枚、または10枚出てきます。※2

※1 両替中ランプ点滅時はエラーが発生しています。発生しているエラーは「7-1 通常モード」の「エラー表示」を参照して確認してください。エラーが発生している側の金種は入金できません。

※2 硬貨払い出し機内にある100円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行うことがあります。

## 6 その他動作

### 6-1 外部パルス

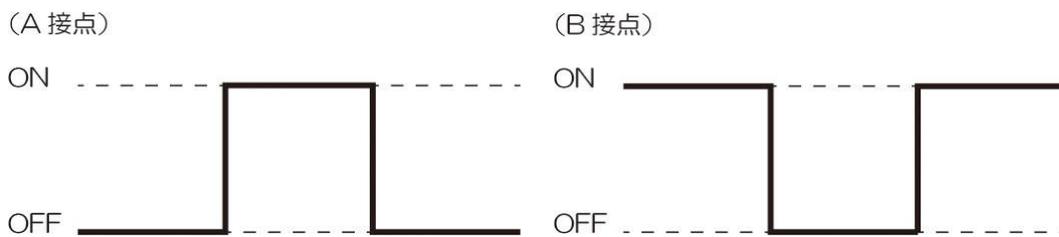
両替動作を行っていない状態で外部パルスを入力すると、1パルスにつき100円硬貨を1枚払い出します。

※硬貨払い出し機内にある100円硬貨の状態によって、払い出し後に均し動作を行う事があります。

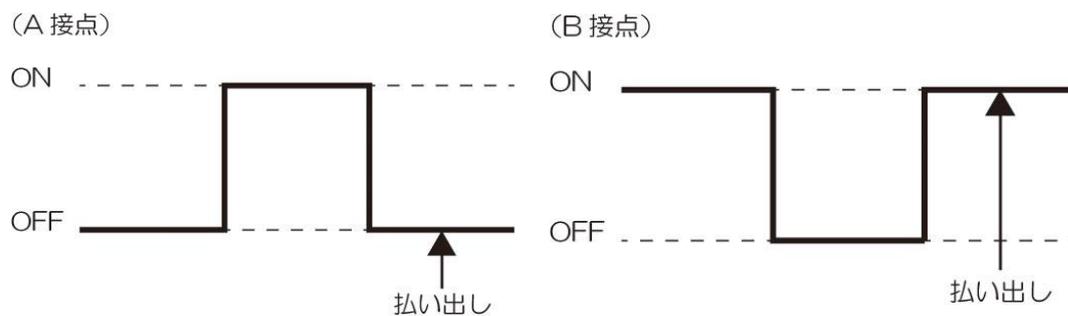
**外部パルスを入力による硬貨払い出しは、エラーが発生している状態でも動作します。紙幣詰まりなどで紙幣の代替えとして払い出しを行う場合は、十分に注意して使用してください。**

※設定エラー、硬貨切れ、硬貨払い出し機エラーが発生している状態では外部パルス入力による払い出しは行えません。

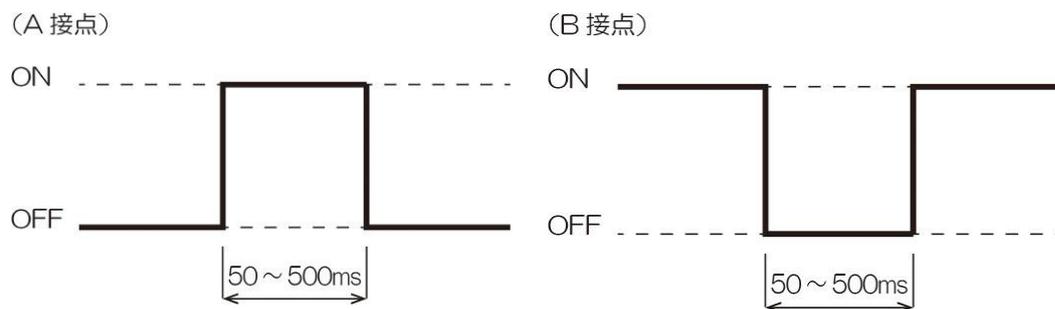
- 外部パルスの信号は、無電圧接点信号でA接点入力、またはB接点入力で接続します。



- 1パルスにつき1枚の硬貨を払い出します。

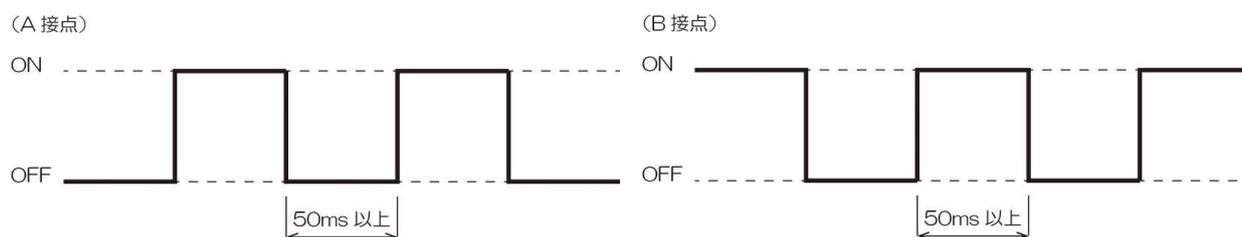


●外部パルスの波形は 50～500ms の範囲で設定してください。

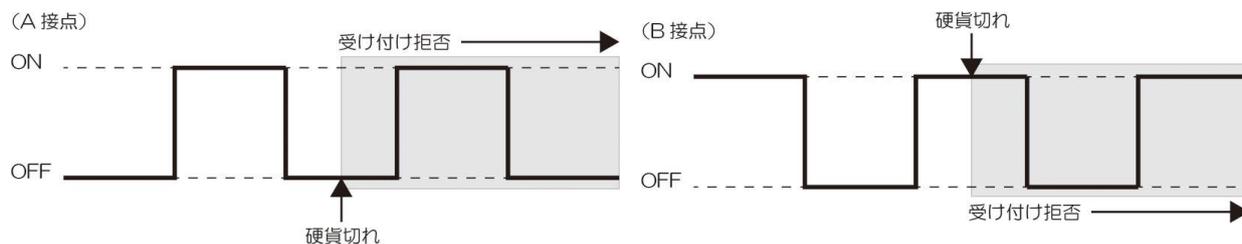


※50～500ms の信号であれば外部パルスとして認識し、払い出しを行います。

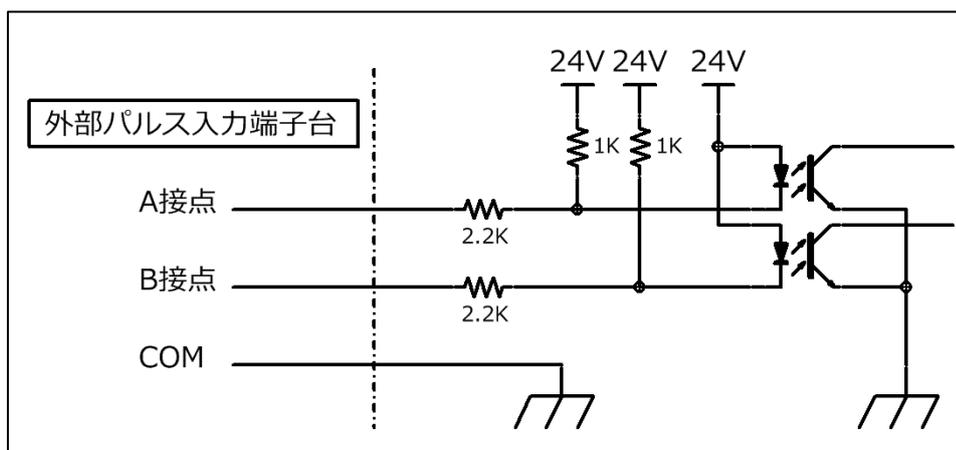
●外部パルスを連続で入力する場合は、50ms 以上の間隔を開けてください。



●外部パルスを連続で入力している際に硬貨切れが発生した場合、以降の外部パルスは受け付けません。

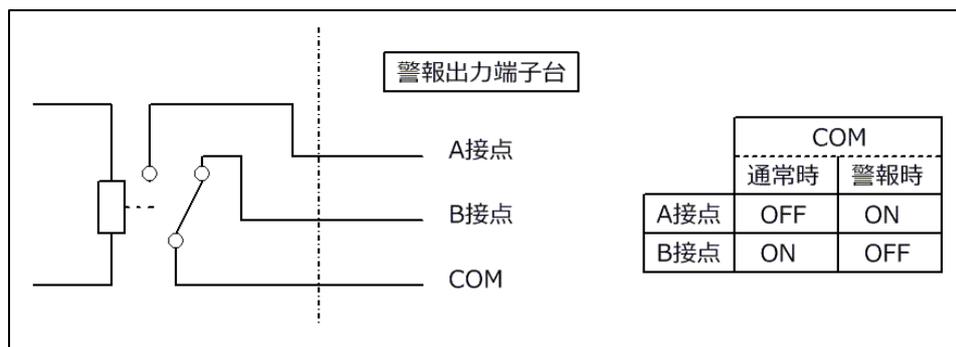


※入力回路は下図のようになります。



## 6-2 警報装置

扉こじあけが発生、および電源プラグが抜かれた場合、警報出力端子台側が下図のようになります。



定格負荷:DC24V 1A

※接続時には定格を超えないように注意してください。

## 6-3 警報ブザー

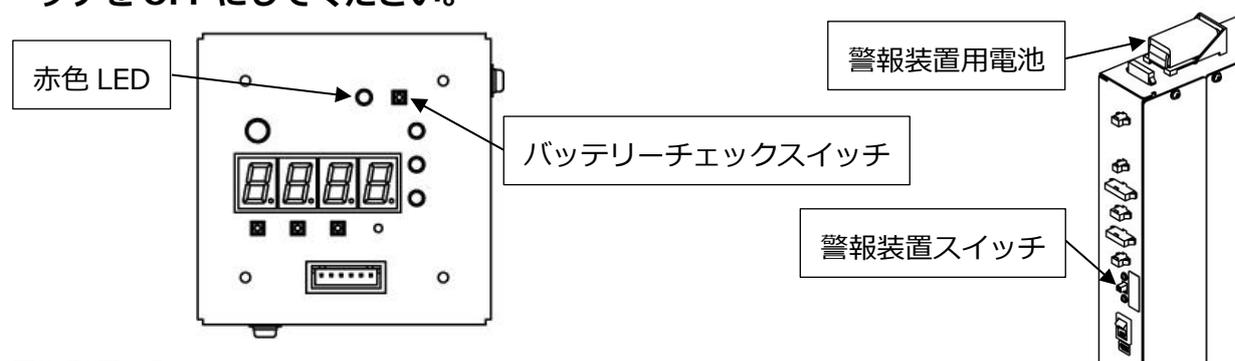
本機のコンセントが引き抜かれた、および前面扉がこじ開けられた場合に、内部の警報ブザーが作動します。

警報ブザーが作動した場合は、警報装置スイッチを OFF にし、警報ブザーが作動した原因を解消後に再度 ON にしてください。

## 6-4 警報装置用電池

### ●電池の取り付け

※電池の取り付けと交換の際は、安全のため警報装置スイッチを OFF にし、電源スイッチを OFF にしてください。



### ●電池残量の確認

電池交換の目安としてバッテリーチェックスイッチが搭載されています。スイッチを押して赤色 LED の発光が暗く感じたら電池を交換してください。

※警報装置用電池は、1年ごとに交換してください。

電池の品名:マンガン乾電池(積層形)

電池の型式:006P形

電池の電圧:9V形

## 7 モード

### 7-1 通常モード

電源を ON にすると通常モードになり、動作を開始します。

#### ・エラー表示

両替中ランプが 1 秒周期で点滅している時に MODE スイッチを押すと、発生しているエラーのエラーコードを表示します。

#### ・硬貨払い出し機のメンテナンス通知

硬貨払い出し機は長期のご使用により機械駆動部の汚れや潤滑剤の劣化が進行し正常な動作の妨げとなる場合があります。

本機ではそれらの機能低下を事前に検知し以下の方法で通知を行います。

#### ・両替中ランプの点滅

待機時、両替中ランプの点滅により機能低下の状態をお伝えします。

・両替中ランプ 6 秒周期点滅  …… 繰り返し  
5.5 0.5 5.5 0.5 5.5 (秒)  
└─▶ 機能低下が進行しています。メンテナンスを行ってください。

・両替中ランプ 3 秒周期点滅  …… 繰り返し  
2.5 0.5 2.5 0.5 2.5 (秒)  
└─▶ 著しく機能が低下しています。早急にメンテナンスを行ってください。

#### ・メンテナンスモードでの確認

メンテナンスモード 項目 13 の表示を確認する (7-2 : メンテナンスモード 13 項参照)。

- ・【HPL0】表示の時：硬貨払い出し機は健全な状態です。
- ・【HPL1】表示の時：機能低下が進行しています。メンテナンスを行ってください。
- ・【HPL2】表示の時：機能が大きく低下しています。メンテナンスを行ってください。
- ・【HPL3】表示の時：著しく機能が低下しています。早急にメンテナンスを行ってください。

※著しく機能が低下した状態で使い続けられますと計数に悪影響が出る場合があります。

※メンテナンス対応の方法については販売店様にご相談ください。

※メンテナンス時は「7-2 メンテナンスモード (硬貨払い出し機メンテナンス情報)」を参照してください)

**重要：**

営業中ランプの点滅についてはホッパー前面のシールにも説明を記載しています。  
ランプの点滅はエラーの発生やホッパーメンテナンスを通知している状態ですので、  
ご注意くださいようお願いいたします。

## ランプの点滅について

4桁数値表示器の上側、緑色のランプが点滅している時は、  
以下の内容をご確認の上、対処をお願いします。

6秒に1回の点滅：硬貨払い出し機の機能が低下しています。  
メンテナンスを行ってください。

3秒に1回の点滅：著しく硬貨払い出し機の機能が低下しています。  
早急にメンテナンスを行ってください。

1秒周期の点滅：エラーです。MODEスイッチを押して  
エラーコードを確認してください。

※MC21\*の場合 両替中ランプ / GEX32\*の場合 営業中又は稼働中ランプ

ホッパー前面シール

・印字操作

プリンター(別売)とケーブル(別売)を接続して、UP スイッチを押すと、両替回数などを印字します。

印字の際は、プリンターの種類に合わせて設定を行ってください。

※プリンター類は別売りとなります。

印字内容

枚数確認	
期間	
20xx年xx月xx日xx時xx分	から
20xx年xx月xx日xx時xx分	まで
機械No	xx
両替	xxx回
入金	
500円	xxx枚
1000円	xxx枚
100円払い出し	xxxx枚
外部パルス	xxx回
外部通信払い出し	xxx枚

・更新操作

SET スイッチを 2 秒間長押しで、出荷状態を解除します。

また、出荷状態解除後は印字内容の回数と各期間回数がリセットされます。

## 7-2 メンテナンスモード

MODEスイッチを押しながら電源をONにするとメンテナンスモードになり、動作を開始します。メンテナンスモードでは、MODEスイッチで項目を移動し、SETスイッチで処理を開始します。

**- 1 -** (時計設定)

本機の時計を設定します。

年(西暦下2桁)月日時分を設定し、秒は設定後0秒になります。

**Y. ※ ※** **M. ※ ※** **d. ※ ※** **H. ※ ※** **F. ※ ※**  
年設定 月設定 日設定 時設定 分設定

**- - - -** **9000**  
設定中 設定完了

- ・MODEスイッチ:変更された値を設定後、モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ:設定値を加算します。また、1秒間長押し後は連続で加算します。
- ・SETスイッチ:年月日時分の順に項目を移動します。

※設定中表示は[-]が左から順番に表示されていきます。設定完了表示になるまでは、電源をOFFにしないでください。

**- 2 -** (機械No.設定)

印字する機械No.を設定します。

範囲:No.1~No.99

初期値:No.1

**※ ※**  
機械No.設定中

- ・MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ:設定値を加算します。また、1秒間長押し後は連続で加算します。
- ・SETスイッチ:変更された設定値を保存します。

**- 3 -** (入金テスト)

500円硬貨、1000円紙幣を入金し、正常に認識される事を確認します。

入金された硬貨、紙幣によって表示の値が加算されます。

**0**  
入金金額

- ・MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。

(硬貨払い出しテスト)

スイッチ、または外部パルス入力によって、100円硬貨が正常に払い出される事を確認します。

払い出し枚数

- ・MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・SETスイッチ:100円硬貨を1枚払い出します。

(両替回数表示)

両替された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範 囲:トータル回数0回~9999回、期間回数0回~999回

トータル回数 期間回数

- ・MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ:トータル回数、期間回数を切り替えます。

(入金枚数表示)

500円硬貨、1000円紙幣が入金された枚数のトータル枚数と期間枚数を確認します。

範 囲:トータル枚数0枚~9999枚、期間枚数0枚~999枚

500円選択 1000円選択 トータル枚数 期間枚数

- ・MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。  
確認中は金種選択へ戻ります。
- ・UPスイッチ:確認する金種を選択します。  
確認中はトータル枚数、期間枚数を切り替えます。

(100 円硬貨払い出し枚数表示)

100 円硬貨が払い出された枚数のトータル枚数と期間枚数を確認します。

範 囲: トータル枚数 0 枚～999999 枚、期間枚数 0 枚～9999 枚

トータル枚数 (上位) トータル枚数 (下位) 期間枚数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: トータル枚数、期間枚数を切り替えます。
- ・ SET スイッチ: トータル枚数の上位桁、下位桁を切り替えます。

(外部パルス入力回数表示)

外部パルスが入力された回数のトータル回数と期間回数を確認します。

範 囲: トータル回数 0 回～9999 回、期間回数 0 回～999 回

トータル回数 期間回数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: トータル回数、期間回数を切り替えます。

(外部通信払い出し枚数表示)

外部通信によって 100 円硬貨が払い出された枚数のトータル枚数と期間枚数を確認します。

範 囲: トータル回数 0 回～9999 回、期間回数 0 回～999 回

トータル枚数 期間枚数

- ・ MODE スイッチ: モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ: トータル回数、期間回数を切り替えます。

**- 10 -** (エラー表示設定)

エラー発生時に、エラー表示ありで本機の動作を停止するか、正常な機器があればエラー表示なしで動作を継続するかを設定します。

範 囲:OFF/ON

初期値:ON(エラー表示で停止)

**OFF** **ON**  
エラー表示なし エラー表示あり

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ UP スイッチ:OFF/ON を切り替えます。
- ・ SET スイッチ:変更された設定値を保存します。

**- 11 -** (硬貨回収)

硬貨払い出し機内の 100 円硬貨をすべて払い出します。

**0**  
払い出し枚数

- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ:1 秒間長押しで硬貨の回収(1000 枚単位で自動停止)を開始します。  
硬貨回収中は停止します。

**- 12 -** (プリンターの切り替え)

印字するプリンターの種類を設定します。

初期値:Prn1(VMP1 プリンター)

**Prn1** **Prn3** **Prn4**  
VMP1 プリンター VM プリンター VM プリンター  
(低速モード)

- ・ UP スイッチ:プリンターを切り替えます
- ・ MODEスイッチ:モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ:変更されたプリンター設定を保存します。

※プリンターは別売りになります。詳しくは販売店様にお問い合わせください。

**- 13 -** (硬貨払い出し機メンテナンス情報)

SET スイッチを押すと硬貨払い出し機の劣化状態を表示します。

**HPL0** 硬貨払い出し機は健全な状態です。

**HPL1** 機能低下が進行しています。メンテナンスを行ってください。

**HPL2** 機能が大きく低下しています。メンテナンスを行ってください。

**HPL3** 著しく機能が低下しています。早急にメンテナンスを行ってください。

- ・ MODE スイッチ：モード選択へ戻ります。  
「CLr」表示中は情報表示に戻ります。

※メンテナンスを行った後は以下の方法でクリア操作を行ってください。

HPL1～HPL3 表示で SET スイッチを押すと **CLr** 表示になります。この状態で SET スイッチを長押しして **9000** 表示を出してください。3 秒後に **HPL0** 表示になります。  
→ メンテナンスを行ったので「HPL0」に戻し、また同時に「硬貨払い出し機排出回数」をゼロに戻しています。

**- 14 -** (硬貨払い出し機排出回数)

硬貨払い出し機が排出した 100 円硬貨のトータル枚数を表示します。

**H.0000**      **00000**  
トータル枚数 (上位)      トータル枚数 (下位)

- ・ MODE スイッチ：モード選択へ戻ります。
- ・ SET スイッチ：トータル枚数の上位、下位を切り替えます。

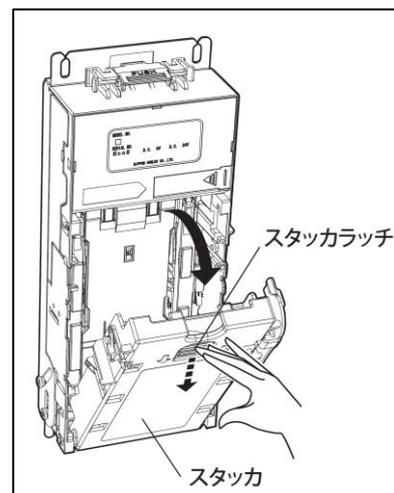
※硬貨回収などのメンテナンスモードでの払い出し数も加算します。

※メンテナンスモード「硬貨払い出し機メンテナンス情報」でクリア操作を行うとカウントがゼロに戻ります。

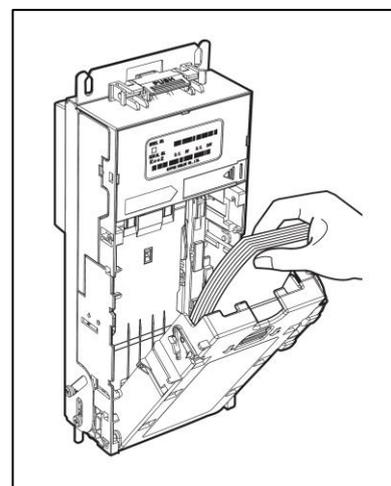
## 8 日常のお手入れ

### 8-1 紙幣回収

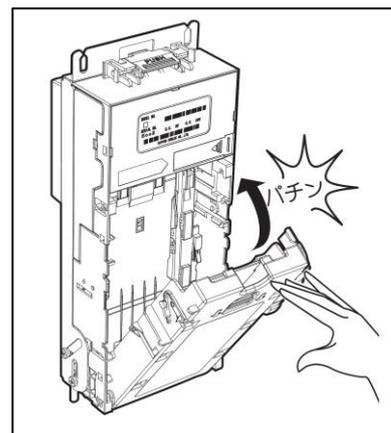
1. スタッカラッチを押し下げスタッカを手前に開きます。



2. 紙幣を取り出します。紙幣は必ず全て回収してください。



3. スタッカを戻すときは、スタッカラッチが“パチン”と音がするところまで押し込んでください。



## 8-2 硬貨の補充

硬貨払い出し機固定ネジを外すと、硬貨払い出し機部が手前に引き出せます。

引き出し後に上部から100円硬貨を補充してください。

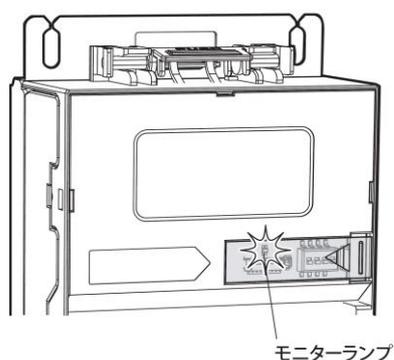
補充後は硬貨払い出し機部を元の位置に戻し、硬貨払い出し機固定ネジで固定してください。

※硬貨払い出し機には、100円硬貨以外の硬貨、および変形硬貨を入れないでください。

## 8-3 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機の識別部(通路部も含む)は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなるとモニターランプが点滅しますのでセンサーを清掃してください。また、1～3ヶ月ぐらいに1度、必要に応じて清掃してください。

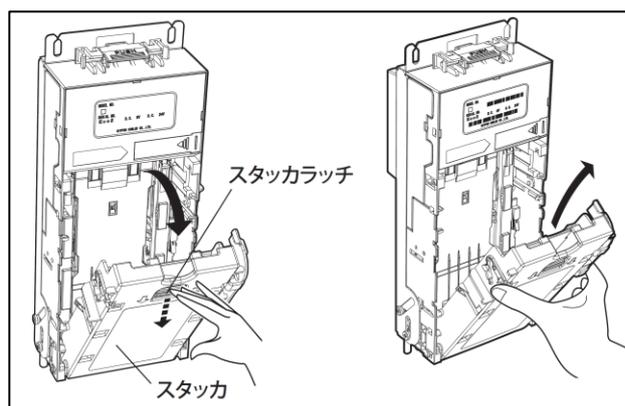
※モニターランプは、識別センサーの汚れにより清掃が必要なとき、0.5秒間隔で点滅します。



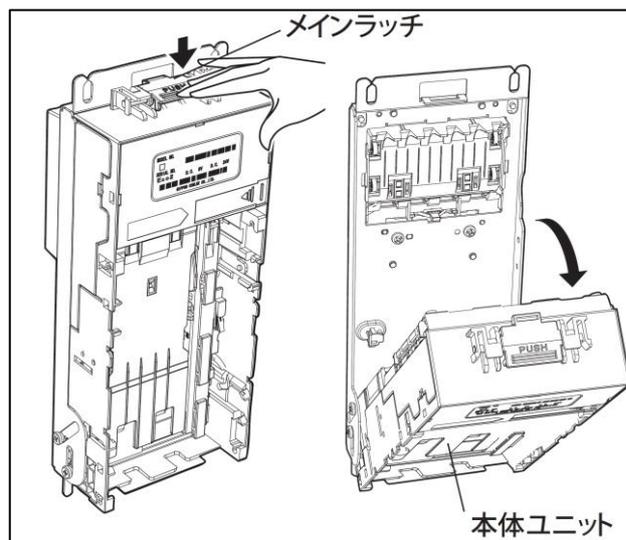
モニターランプの表示内容

状態 \ 色	赤	緑
消灯	正常	正常
点灯	異常	点検
点滅	センサー汚れ	-

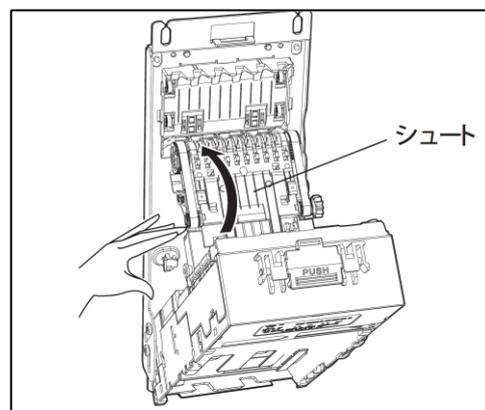
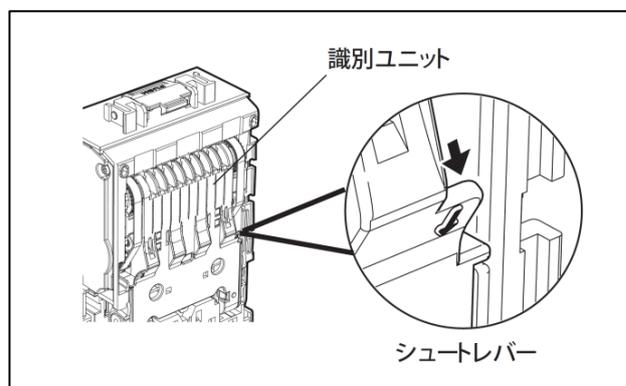
1. スタッカラッチを押し下げ、スタッカを開き、外します。



2. メインラッチを押し下げ、本体ユニットを開きます。

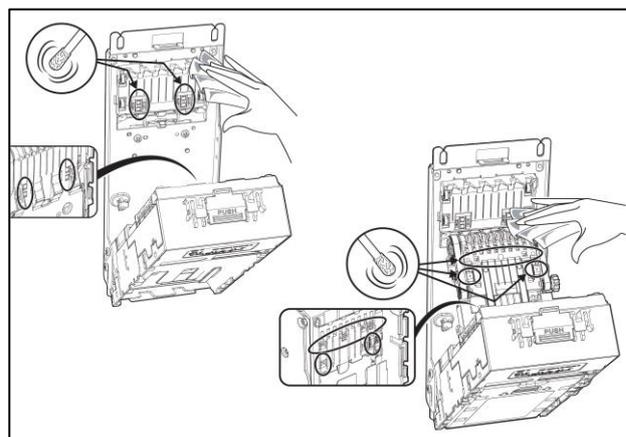


3. 識別ユニットの矢印部分のレバーで、シュートを開いてください。

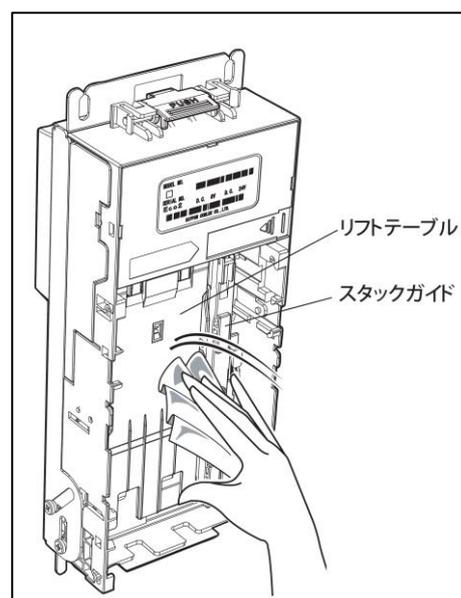
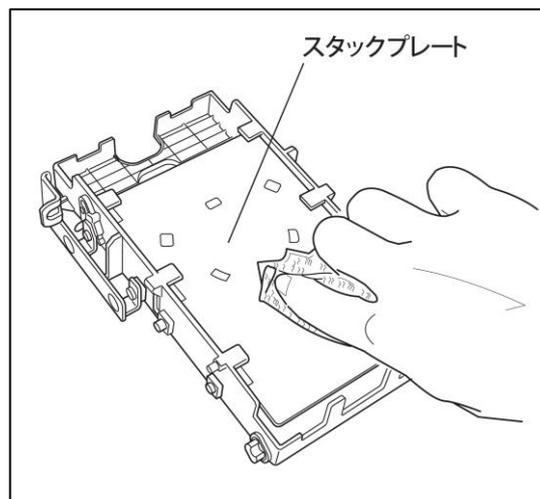


4. 紙幣通路部の汚れは柔らかい布で拭き取ってください。またシュート、ローラ、ベルトなどの汚れを拭き取ってください。

※センサー類を清掃するとき、キズを付けないように十分注意してください。



5. リフトテーブル、スタックガイド、スタックプレートなどの汚れを柔らかい布や綿棒で拭き取ってください。



※紙幣挿入口は綿棒などで清掃してください。

※汚れが取れにくいときは、固くしぼった柔らかい布などで拭き取ってください。

※搬送ベルトには、ベンジン・シンナーなどは絶対使用しないでください。

## 8-4 硬貨選別機の清掃

硬貨選別機は、硬貨、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると硬貨の選別性能が維持できなくなります。

性能を長く維持するために、1～3 ヶ月に一度定期的に清掃してください。

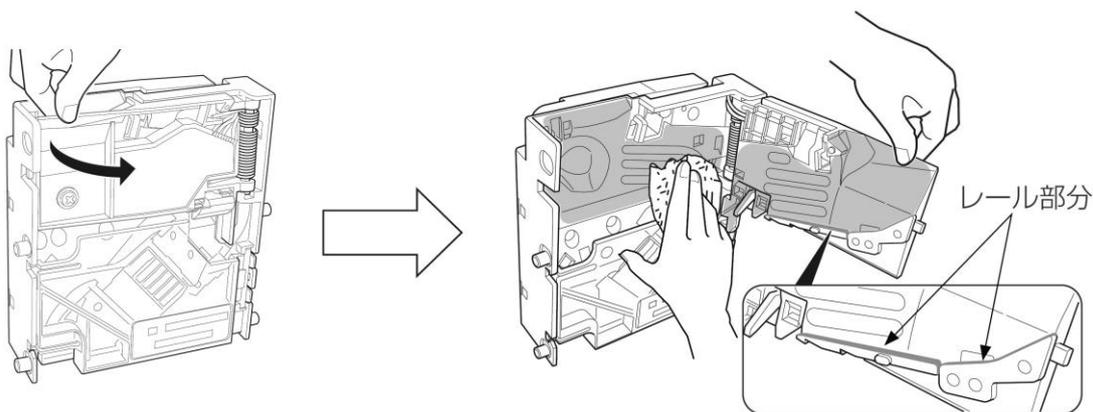
### 【注意】

- ・必ず電源スイッチを OFF にしていることを確認してください。
- ・清掃が終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してください。  
確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。
- ・乾拭きで汚れが取りにくい時は、柔らかい布に無水エタノールを含ませてください。
- ・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や変色、故障の原因になります。

1. ゲートを手で開きながら、選別センサー(グレー部分)を清掃してください。特にレール部分をよく清掃してください。

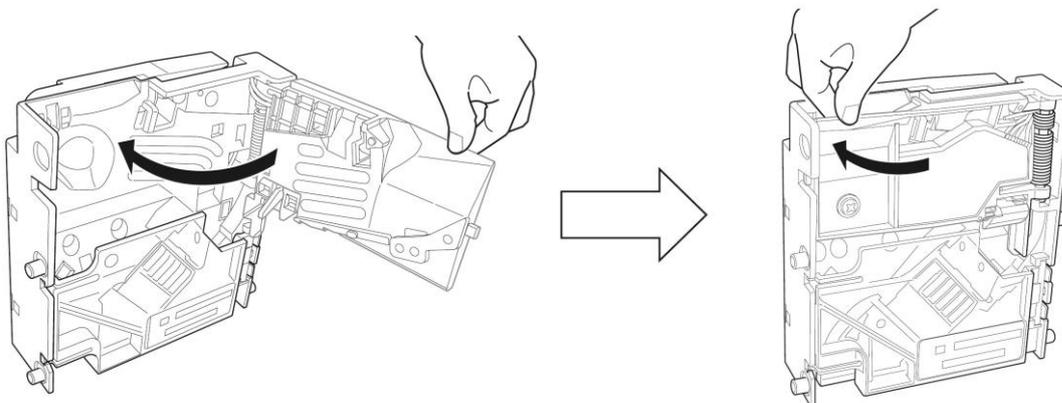
**【注意】** ゲートを開く時、指を挟まないよう十分注意して作業してください。

**注意せず作業をすると指を挟みけがをする恐れがあります。**

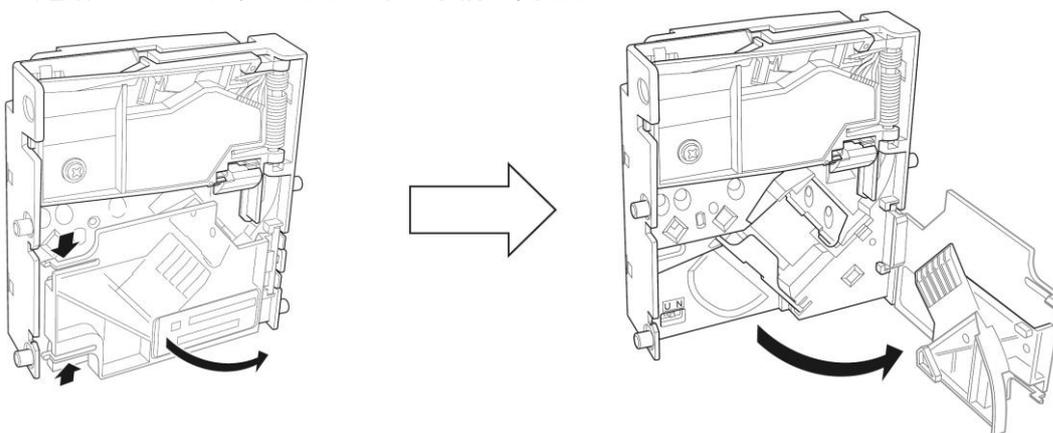


2. 開いたゲートはゆっくり戻してください。

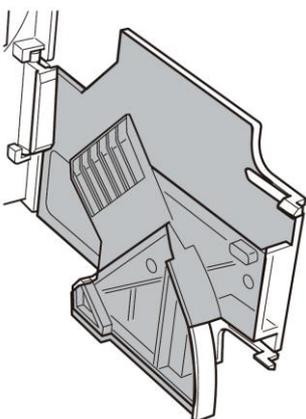
**【注意】** ゲートを強く戻すと、部品の破損等により故障の原因となるばかりでなく、指を挟みけがをする恐れがあります。



3. 通路カバーのラッチをはずし、手前に開きます。

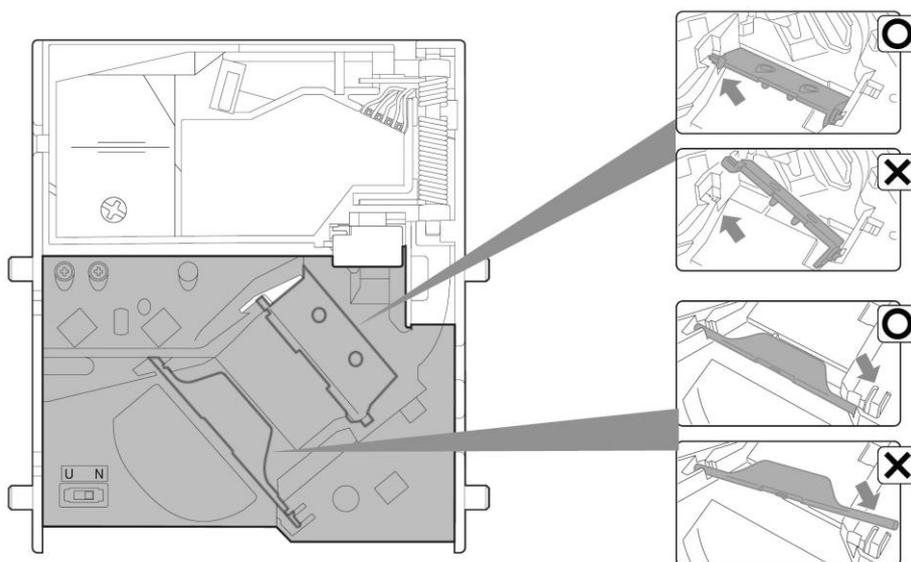


4. 通路カバーの硬貨通路部(グレー部分)を清掃します。この時異物や硬貨が詰まっていた場合は取り除いてください。



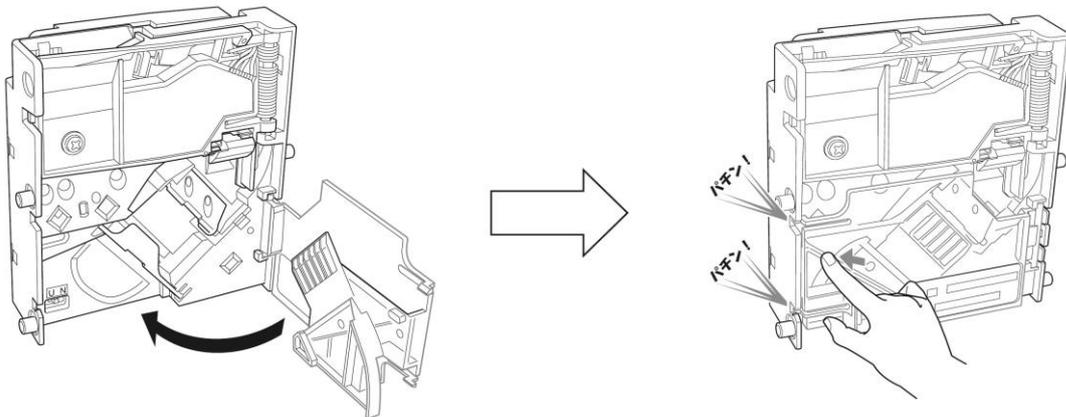
5. 硬貨通路部(グレー部分)を清掃します。この時異物や硬貨が詰まっていた場合は取り除いてください。

**【注意】 清掃する時に各レバーの外れ、変形しないように、十分注意しながら清掃してください。各レバーの外れや、変形があると、誤作動や故障の原因となります。**



6. 通路カバーを“パチン”と音がするまで押して閉じます。

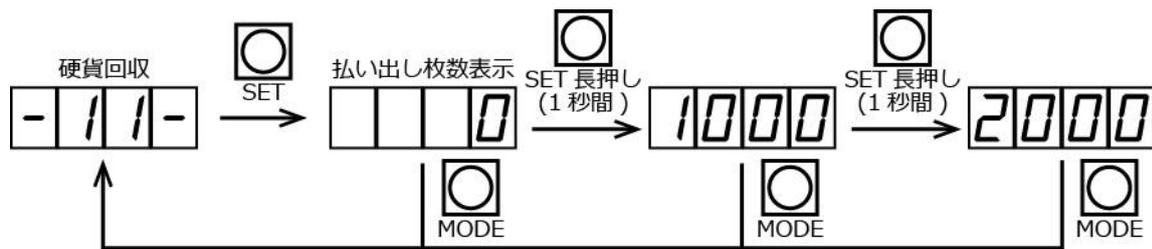
**【注意】 通路カバーが正しく取り付けられていないと、誤動作や故障の原因となります。**



## 8-5 硬貨の回収方法

硬貨払い出し機内の硬貨をすべて払い出すには、硬貨回収を行います。

1.  (MODEスイッチ)を押しながら電源をONにし、メンテナンスモードに入ります。
2. メンテナンスモードの硬貨回収を表示させます。
3. SETスイッチを押して、払い出し枚数表示にします。
4. 払い出し枚数表示でSETスイッチを1秒間長押しします。
5. 硬貨回収が開始されます。



※硬貨回収は 1000 枚払い出し毎、または SET スイッチを押すと停止します。

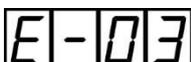
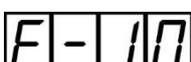
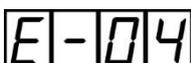
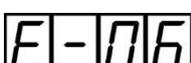
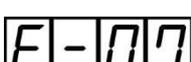
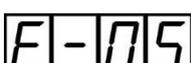
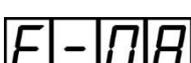
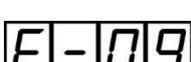
## 9 エラー

エラーコード	エラー名	エラー要因
E-01	設定エラー	設定値の読み書きに失敗しました。 電源を OFF にし、しばらく待ってから再度 ON にしてください。
E-02	時計エラー	時間の読み込みに失敗しました。 メンテナンスモードで時計設定を行ってください。
E-03	扉こじ開け	錠前が閉められた状態で前面扉が開いています。 前面扉を正しく閉じてから錠前を閉めてください。
E-04	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
E-05	硬貨選別機コネクタ抜け	硬貨選別機のコネクタが抜けています。 販売店までご連絡ください。
E-06	紙幣満タン	紙幣が満タンになっています。 紙幣を回収してください。
E-07	紙幣識別機エラー	紙幣識別機が通常動作を行えない状態です。 紙幣識別機の可動部を正常な位置にしてください。
E-08	500 円硬貨満タン	500 円硬貨が満タンになっています。 500 円硬貨を回収してください。
E-09	硬貨選別機エラー	硬貨選別機が通常動作を行えない状態です。 硬貨通過部の詰まりを解消してください。
E-10	硬貨切れ	硬貨払い出し機内に 100 円硬貨がない状態です。 100 円硬貨を補充してください。
E-11	硬貨払い出し機エラー または メンテナンスコール	払い出し動作で 100 円硬貨が払い出されませんでした。 電源を OFF にし、硬貨払い出し部の詰まりや回転盤上部の空洞などを解消後、再度 ON にしてください。 上記を解消してもエラーが出る場合は、硬貨払い出し機のメンテナンスを販売店までご依頼ください。

※上記対処を行っても復旧しない場合は、販売店までご連絡ください。

●エラーコードの表示について

「7-2 メンテナンスモード」の「エラー表示設定」により、発生したエラーによっては、5秒経過後にエラーコードが消え、可能な動作を継続します。この時、両替中ランプは点滅します。また、複数のエラーが発生し、500円、1000円すべてが入金禁止になった場合は、エラーコードを表示し、動作を停止します。

エラーコード	エラー表示設定	本機の状態
 (設定エラー)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (時計エラー)		
 (扉こじ開け)	なし	エラーコードを表示し、動作停止
 (硬貨切れ)		
 (硬貨払い出し機エラー) または メンテナンスコール		
 (紙幣識別機コネクタ抜け)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (紙幣満タン)	なし	1000円が入金禁止になり、動作継続
 (紙幣識別機エラー)		
 (硬貨選別機コネクタ抜け)	あり	エラーコードを表示し、動作停止
 (500円硬貨満タン)	なし	500円が入金禁止になり、動作継続
 (硬貨選別機エラー)		

## 10 製品仕様

項目	内容
対応金種	500 円硬貨、1000 円紙幣
硬貨収納枚数	100 円硬貨:3000 枚(硬貨払い出し機に収納) 500 円硬貨:200 枚(硬貨収納箱に収納) ※500 円硬貨は、重なり方によって収納枚数が増減する事があります。
紙幣収納枚数	1000 円紙幣:430 枚±50 枚(官封紙幣) ※流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。
表示	4 桁数値表示器:7 セグメント LED 両替中ランプ:緑 LED 500 円、1000 円中止ランプ:赤 LED
回数管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両替回数、500 円硬貨入金枚数、1000 円紙幣入金枚数、外部パルス入力回数、外部通信払い出し枚数</li> <li>※トータル回数:リセットなし 4 桁</li> <li>    期間回数:リセットあり 3 桁</li> <li>・100 円硬貨払い出し枚数</li> <li>※トータル枚数:リセットなし 6 桁</li> <li>    期間枚数:リセットあり 4 桁</li> </ul>
両替能力	500 円硬貨:100 円硬貨×5 枚 1000 円紙幣:100 円硬貨×10 枚
外部パルス	1 パルスにつき 100 円硬貨払い出し A 接点入力、または B 接点入力 入力幅:50~500ms
印字機能	期間回数の印字動作 ※印字に使用するプリンターとケーブルは別売になります。
警報装置	コンセント引き抜き時、および前面扉こじ開け時に警報ブザー作動 DC 出力 C 接点 定格負荷 DC24V 1A
時計精度	月差 60 秒以内
停電保証	大容量コンデンサーによる時計値記憶 停電後 1 週間(フル充電状態にて)
使用環境	屋内専用 温度 5~45℃ 湿度 30~90%(結露なき事)
設置方法	自立式(アンカーボルト固定)

項目	内容
外形寸法	本体 300mm(W)×500mm(H)×340mm(D) <sup>※1</sup> 架台 <sup>※2</sup> 300mm(W)×800mm(H)×340mm(D) 台座 <sup>※2</sup> 560mm(W)×560mm(D)
重量	本体 約 25kg 架台 <sup>※2</sup> 約 19kg 台座 <sup>※2</sup> 約 8kg
電源	AC100V 50/60Hz
電源変動許容範囲	AC100V±10V
消費電力	待機時 9W 動作時 17W
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上
耐電圧	AC1000V/1 分間(充電部 - 非充電部)
静電気耐力	8KV 以上(IEC 61000-4-2 準拠)
耐ノイズ	モード ノーマルモード、コモンモード パルス幅 1μSec          パルス高 ±1200V 位相 0~360°          3 分間重畳し誤動作なき事

※1 突起部分は含みません。

※2 オプションとなります。

## 11 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、ご承認のうえご注文をお願い致します。

### 1)保証内容

#### －保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

#### －保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社製品に故障を生じた場合は、代替品の提供、または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。

ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a)取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱い・使用方法による場合
- b)当社製品以外の原因の場合
- c)当社以外による改造または修理による場合
- d)当社製品本来の使い方以外の使用による場合
- e)その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

### 2)責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、またはそれにより生じた結果について当社は責任を負いません。

### 3)サービスの範囲

当社製品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。

お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

### 4)適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。

日本国外での取引、および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上